

第 2 章	社会(歴史)	名前:		日 付	No.01
	縄文弥生				

[問題 1]

右の資料は、ナウマン象の化石や打製石器が発見された場所を示したものである。ナウマン象が活動し、人々が打製石器を使っていたころの日本列島の様子を説明した文として正しいものを 1 つ選べ。

- ア 今よりも海水面が高く、ナウマン象の化石や石器が発見された場所のみが日本列島であった。
 イ 今と同じ海水面であった。
 ウ 今よりも海水面が低く、大陸と陸続きであった。

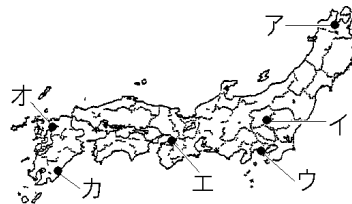


[解答欄]

[問題 2]

次の各問いに答えよ。

- (1) 右の資料は日本で初めて発見された、石を打ち割ってつくった〇〇石器である。〇〇にあてはまる語句を答えよ。
 (2) (1)の石器は、どこで発見されたか、下の地図のア～カから選べ。また、それは何県にあるか。



[解答欄]

(1)		(2)	
-----	--	-----	--

[問題 3]

次の年表について、後の各問いに答えよ。

年	できごと	遺跡
約 70～1 万年前	A 大型の動物を追って人々が大陸から来る。 打製石器が使われる。	長野県の(①)湖 群馬県の(②)遺跡
約 1 万年前	氷河期が終わり、日本列島ができる。	

- (1) 上の年表中の①、②にあてはまる語句を書け。
 (2) 年表中の A の「大型の動物」にあてはまるものを次の[]から 2 つ選べ。

[いのしし ナウマン象 アジア象 オオツノジカ]

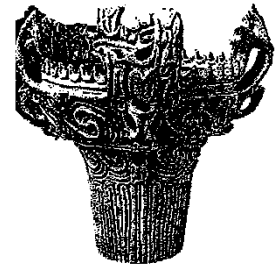
[解答欄]

(1)①		②		(2)	
------	--	---	--	-----	--

[問題 4]

次の文の①～④の()内から適する語句をそれぞれ選べ。

右の資料は①(弥生／縄文)土器である。かたい木の実などを煮炊きする、または保存したりするのに用いられた。この土器の特徴は、表面に②(縄目／うずまき)模様がほどこされ、比較的③(薄手／厚手)であることである。また、低温で焼かれていたため、色は④(赤褐色／黒褐色)をしている。



[解答欄]

①		②		③		④	
---	--	---	--	---	--	---	--

[問題 5]

次の文の①～③に適語を入れよ。

縄文時代は、世界史的には新石器時代で(①)や牧畜が始まっていたが、日本では食料が豊富だったため、(①)や牧畜は発達しなかった。人々は(②)住居に住んでいた。海岸や水辺には食べ物の残りがすを捨てた(③)ができた。

[解答欄]

①		②		③	
---	--	---	--	---	--

[問題 6]

次の各問いに答えよ。

(1) 図 1 は、稲の穂をつみ取るために使われた道具である。

この道具は何か。

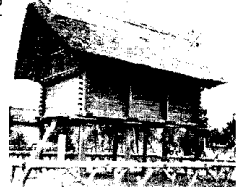
(2) 弥生時代に作られた図 2 のような建物を何というか。

(3) 図 2 の建物の床が高くなっているのはなぜか。

図1



図2



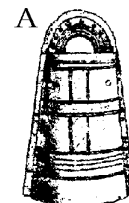
[解答欄]

(1)		(2)	
(3)			

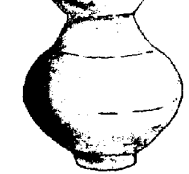
[問題 7]

次の文の①～③に適語を入れよ。

紀元前 4 世紀ごろ大陸から稲作が伝わったが、稲作とともに青銅器や(①)などの金属器が伝えられた。右図 A は青銅器の一種の(②)で、祭りのための宝物として用いられた。(①)は、武器としてや木製の農具や舟を作る道具として用いられた。右図 B は(③)土器といわれ、薄手でかたく縄文土器に比べると上質だった。



B



[解答欄]

①		②		③	
---	--	---	--	---	--